

備前市事務事業評価表

事務事業名	勤労者融資事業	コード	04-02-05-02
		担当課・係	商工観光課 商工労政係
事業実施期間	S46~	担当者	山台 智子
		電話	0869-64-1832
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	起業と創造を支えるまちづくり	
	小項目(施策)	勤労者福祉（福利厚生）の充実	

事業について	
目的 (何のために)	市民及び市内勤労者に対し生活資金の貸付を行うことにより、市民のより豊かで充実した生活を支援する。
対象 (誰・何を対象に)	市民及び市内勤労者
内容	中国労働金庫に資金預託し、これを原資に市民及び市内勤労者へ生活資金の貸付

事業の結果				
実施項目	17年度		18年度	
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
勤労者貸付件数	196	件	153	件
勤労者貸付額	112,659,227	円	86,683,996	円

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	人件費	国庫補助金等	市債	直接事業費	人件費	国庫補助金等	市債	直接事業費	人件費	国庫補助金等	市債
	80,000	325			80,000	664			0			
合計	80,325			80,325	80,664			80,664	0			0

必要人員	0.04	人	0.07	人
結果指標	結果指標名	勤労者貸付件数（月平均）	勤労者貸付件数（月平均）	
	結果指標量	196	153	
	単位	件	件	
	対前年比	-	78.06%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	80,325,000	80,664,000	円
	単位当たりコスト	409,821	527,216	円
	結果指標名	勤労者貸付額（月平均）	勤労者貸付額（月平均）	
	結果指標量	112,659,227	86,683,996	円
結果指標	単位	円	円	
	対前年比	-	76.94%	0.00%
	活動にかかるコスト	80,325,000	80,664,000	円
	単位当たりコスト	0.71	0.93	円

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	市民及び市内勤労者に対し生活資金の貸付を行うことにより、市民のより豊かで充実した生活の実現に寄与する。
成果指標名	勤労者貸付額
式又は説明	勤労者貸付額（月平均残高）
成果指標量	17年度 112,659,227 18年度 86,683,996
対前年比	- 76.94%
到達目標値	120,000,000 到達目標年度 平成20年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の 妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：備前市勤労者貸付規則	妥当性評価 <A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	市民及び市内勤労者に対し生活資金の貸付を行うことにより、市民のより豊かで充実した生活を支援することは、妥当である。勤労者を取り巻く環境は、景気の動向や雇用の変化に影響を受けやすく、安定した生活環境を保持するためにも、事業の安定的な推進は不可欠である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の 評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A~E> D
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	預託金をもとにした貸付限度額に比べ実績が低い。預託金の金額が適当であるかを検討する。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A~E> D	
有効性の 評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	一定の成果はあげているが、さらに利用件数、貸付額を増大できるよう情報提供するとともに、労働金庫と協力し制度の維持に努める。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 180 (件) 成果指標量 100,000,000 (円)	

総合評価		評価区分
勤労者貸付制度は、勤労者の安定した生活を促すために必要な事業であるが、利用者が減少傾向であるため、制度のPR等に努め利用促進を図る。		<A~E> D

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	預託額の検討	H20	効率性の向上
有効性	制度のPRに努める	H20	利用者の増加